

令和元年度定時総会 令和元年6月1日(土)

於：ホテルグリーンタワー幕張

## INDEX

令和元年度定時総会	1
会長・委員長ごあいさつ	2
うすい日出男自伝 第2回	3
例会委員会報告	4
研修委員会報告	4
スケジュール・編集後記	4

## 新たな気持ちで、令和時代の活動スタート!!



新しい元号の令和になって初の定時総会が令和元年6月1日(土)に、ホテルグリーンタワー幕張の3階チェルシーを会場として開催されました。

第一部の定時総会は、定刻午後6時を若干過ぎて吉田光一さんの司会で開会されました。議長に木村光慶さん、議事録署名人に阿佐一郎さんを選出し、議事が進行されました。1、2号議案を内藤幹事長が説明し、穂刈監査役より監査報告。一括採決承認後、3号議案を木下会長より、4・5号議案を臼井副会長から説明がありました。

出席者から3件の質問があり、それぞれ会長が丁寧に答えていました。その後、採決・承認がなされ、3期連続の続投となる木下会長のもと、新たに副幹事長に阿佐一郎さんを迎え、研修委員長は吉田光一さん、例会委員長は中島美香さん、親睦委員長は早野泰広さん、そして私・永田洋子が3度目の広報委員長に指名され、新年度の活動がスタートすることになりました。

例年、定時総会終了後に臼井先生による特別講演が行われてきましたが、今回は行われず、記念写真の撮影に。皆、素敵な笑顔をカメラに向けていました。

その後、会場を3階チェルシーに移し、第二部の懇親会がスタート。この日、何度も登壇し、少々挨拶疲れの木下会長による開会の挨拶のあと、臼井先生からご挨拶いただき、新たに任命された役員への任命式が行われました。

その後、こちら3期目となる林直前会長による乾杯のご



発声で懇親会がスタートし、和やかに歓談しながら食事を楽しみました。例年より懇親会の時間を長く設けたため、仲の良い会員同士だけでなく、久しぶりの会員や、入会后、初めての定時総会となる新入会員の方などとも会話が弾む懇親会となりました。

最後に全員で「日の出の男」を合唱し、臼井正一副会長による中締めをもって、終了に。参加者は総会40名、懇親会41名でした。

(川名利夫事務局長&永田洋子)

## 令和元年度 会長ごあいさつ



令和元年度月星会  
会長 木下 英之

3期目、正念場の年となりました。「広報つきばし」をお読みの皆様、昨年度中は会行事へのご協力誠にありがとうございました。そして、改めてどうぞ1年間よろしくお願いたします。

今年の総会では質疑応答で沢山のご指摘・アドバイスをいただきました。近年なかったことで、本当にありがたいことです。ご期待に沿えるよう、役員全員で知恵を絞り、協力し具体的に改良していきます。そして結果もさることながら、そのプロセスを大事にしていきたいと思ひます。

特に、名簿の整理については必ず今期のうちに現代の需要にあったものを作成します。ご協力お願いいたします。

平成から令和にかわっても世の中には多くの不安が渦巻いています。天災など環境変化への不安、景気や社会保障

などの先行きへの不安・・・テレビ・マスコミはその不安を煽るニュースばかりです。

政治への期待感もなく、平和ボケな我々をよそに、世界情勢は大きく動いている。皆がぼんやりとこれではダメだと分かっているのに、どうしようもないまま今日も一日が終わる・・・という諦めに近い閉塞感を感じます。

また、身の回りでも少し注意・指摘されただけで、キレる若者・老人・・・なんだか一触即発な雰囲気。このままだといずれは本当に戦争が始まるのではないかと思うような心の内戦状態を感じます。

そんな中でも、いやそんな中だからこそ、月星会は臼井日出男先生・月星紋を旗印に仲間が集い、楽しい中にもしっかりと学びを得られる会であり続けたいと思ひます。変わり続けながらも、変わらない部分・変えてはいけない部分はしっかりと守っていきたく思ひます。

どうか今年は「会」「会員」「会行事」の価値・魅力を再発見！そんな1年になるよう活動していきますので、ぜひぜひご協力をお願い申し上げます。

## 新委員長ごあいさつ



研修委員長 吉田 光一

令和元年月星会研修委員長を仰せつかりました吉田光一です。昨年までの2年間は例会委員長を務めさせていただきました・例会開催につきまして会員の皆様、委員の方々のお力をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

上げます。

この度、広報から研修委員長としての抱負を聞かせてほしいとの依頼がありましたので申し上げます。11月と2月に研修会を開催予定しております。事業経営者にとって即現場で役に立つ内容、経営者としての心構えなど、皆様に参加してよかったと言っていただけの研修会にしたいと考えております。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。宜しくお願い致します。



例会委員長 中島 美香

こんにちは、中島美香です。この度、例会委員長を引き受けさせていただきました。入会したばかりで何も知らず、周りの方々にはご迷惑をお掛けすることばかりだと思ひます。

まずは、会員の方々のお顔とお名前を覚えさせていただかないといけませんので、私は毎回受付にてお待ちしております。

そして、月星会の変遷なども含めて、真摯に受け止めて、少しでも革新的で弾力性のある、社会的で意味のある知識の一つとして、例会の卓話をお聞きいただけましたら、大変嬉しく思っています。

大先輩の皆様方、例会委員の皆さん、今後ともご教授を宜しくお願い致します。



親睦委員長 早野 泰広

本年度、親睦委員長を仰せつかりました、早野泰広です。私は、多くの会員と会員家族が気軽に参加し、また交流出来るような委員会を目指してお

ります。

9月には1泊で南伊豆の親睦旅行を計画しており、その後ボーリング大会、新年会等も予定しています。年数回の企画ですが、皆様が楽しんでいただけるよう努力して参りますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願致します。

※広報委員会は前年に引き続き、永田洋子が委員長を務めさせていただきます



## 父・臼井莊一のこと・その1

父・臼井莊一は私にとって政治家としての手本であり、師であった。ただし、手本や師として意識したのは40代に入る少し前の頃で、それまでの私の人生には「政治家」という選択肢さえ視野に入っていなかった。

30代の頃は父の秘書をしていたので、周りは「莊一先生の後を継ぐのは三男の日出男さんだろう」と思っていた人もいるかもしれない。しかし、当の私はというと、政治家になろうと本気で考えたことは一度もなかった。子供の頃も、学生の頃も、社会人になってからも、である。

なぜ政治家を意識したことがなかったのか。理由は前回触れたように、長男の一世が父の跡を継ぐだろうと、子供の頃からずっと思っていて、三男の私が政治家になって父の後を継ぐことはないと思いつけていたからだ。

そこには、政治家としての父の存在があまりにも大きく、自分がその偉大な政治家の後継者になるには並大抵の努力では無理だという思いもあった気がする。

父が他界した(1987年10月18日)翌年、『追悼集 臼井莊一を偲ぶ』と題する小冊子を作ったことがある。その小冊子の「序」を私が書いているのだが、読み返してみると、こんなことを書いていた。一部を抜粋する。

〈晩年の父は、持ち前の温厚さと、まじめさで通っており、内に秘めた正義感や政治的執念などを外に表わす場面はほとんどなかったが、父の戦前、戦中、戦後の政治的活動は、正に波乱に満ちた壮大なドラマだった。

政治一筋に己の道を貫き通した一人の政治家の生き様は、多くの人に知ってもらいたいと思うし、また私自身も政治に携わるものの一人として、改めてしっかりと確かめたいとも思った。〉

〈この冊子は、政治家としての私、臼井日出男の人生の指導書であり、戒めの書である。〉

この小冊子を作ったとき、私はすでに衆議院議員になっていた。初当選が1980年だから、国会議員はすでに8年務めていたことになる。

8年も務めたのだから、もう一人前の国会議員になっていたなどとは少しも思わなかった。父の偉大さに比べたら、まだヨチヨチ歩きぐらいのレベルだったと思っている。

追悼の小冊子に寄稿して下さった方々のお名前を見れば、きっと私のその気持ちをご理解いただけるであろう。ごく一部の方のみ紹介させていただく。

竹下登自民党総裁、三木武夫元内閣総理大臣、海部俊樹衆議院議員、沼田武千葉県知事、松井旭千葉市長、浜田幸一衆議院議員、鯨岡兵輔衆議院議員、進藤一馬前福岡市長・元衆議院議員、植草こう植草学園理事長、安田敬一扇屋ジャスコ

株式会社社長、永田正義前人吉市長、等々

(肩書きはすべてご寄稿いただいた当時のもので、ご本人の意向にもよる。竹下、三木、海部の3先生は元総理大臣)。

今、改めて振り返ってみると、すごい人たちが追悼の言葉を述べて下さっているこ

とに驚く。父が千葉県のみならず全国的に政財界等で尊敬され、その死を悼まれたことがおわかりになると思う。

皆様の追悼の記にほぼ共通しているのは、政治家としての父の真面目さ、清廉潔白さを讃えていることである。

元総理大臣の竹下先生は、父のことをこう書いている。一部抜粋させていただく(括弧内は私の補足)。

〈私がはじめて国会議員に当選した当時、背筋を伸ばした端正な姿勢と鋭い眼光の大先輩として、(臼井莊一)先生を仰ぎ見たものであります。その先生がひとたびお笑いになると打って変って親しみ深い、人なつっこい笑顔になりました。先生は明朗闊達、常に庶民性を失うことなく国政にあたり、清廉潔白な政治生活を貫き通されました。〉

〈先生の政治上の御遺志は、御子息日出男君によって立派に受け継がれております。私共もまた日出男君と手を携えて、先生の御功績、御遺志に恥じないよう、死力を尽くすことをお誓い申し上げます。〉

三木武夫先生はこう書いて下さった。

〈世に「井戸堀政治家」ということばがあるが、臼井君も世に言う井戸堀政治家だった。選挙が1回終わると、映画館(臼井家の事業)が一つ消えるという話は、千葉では有名な話だと言う。現代の政治家たちに、爪の垢でも煎じて飲ませてやりたい。〉

三木先生にご指摘いただいているように、父はお金にはきれいすぎるほどきれいだった。それゆえに苦勞もした。父がわずか数百票の差で総選挙に惜敗した時、三木先生に「私が後援会長を引き受けるから、資金集めをしてみないか」とアドバイスされたのですが、父は「今さら政治のやり方を変える気はないのでご遠慮申し上げます」ときっぱりお断りしたこともあった。

自らが信じる政治の道をひたすら歩んだ無欲の政治家・臼井莊一への存在感は、私の心の中から消えることはない。

次回も父のことを書きたいと思う。



## 研修委員会報告

第2回経営研修会 令和元年5月11日～12日 於：天空の寺 太陽寺

### 天空の寺『太陽寺』を訪ねて

5月11～12日一泊二日研修委員会主催のバス旅行 天空の寺「太陽寺」へ善男善女11名で行って来ました。

野に山に清々しい風が吹きわたり遥か山並みを眺めながら秩父連山の山路を縫うように走る・・・。「太陽寺」は後嵯峨天皇の第三皇子として生まれた仏国国師により鎌倉末期から南北朝期に向かう動乱の時代に開山されたお寺。今の本堂は江戸時代創建。携帯電話も圏外！の秘境にたたずむ禅寺で心の荷を下ろし自分を顧みるチャンスと参加しました。

沢山のカメムシのお出迎えで到着と同時に掃除機でお部屋の清掃！ 禅寺の修行(?)から始まりみんなで般若心経の写経、読経、法話と続き待望(?)の精進料理の夕食。

お坊さんから差し入れの般若湯1升瓶と持ち込みのお酒で盛り上がり、到着時は「ここで泊るの？ホテルじゃないの？」と言っていた方々もお酒の力は凄い！シッカリと宴会気分満開。まさか歌は出ないよね！とハラハラ。

夕食後は中国からいらした女性2人の笙の演奏、深夜に庭で見上げた満天の星空、北斗七星、流れ星と天体ショーを堪能しました。

翌日は朝食後に道場で座禅 心を無に雑念を払いゆったりとした時間に身をゆだねていると、聴こえてくるのは清流の音と鶯の声。 小さい存在の自分がこの大自然の中に生かされていることに感謝！ 錦秋で燃え上がる頃に再度訪ねることを誓い、次の訪問地三峰神社にむかいました。

(研修委員 林 理知子)



### 8月のスケジュール

8/7(水)	役員会	18時00分開会	ホテル菜の花
8/22(木)	夕食例会	18時30分開会	鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円

## 例会委員会報告

5月例会 令和元年5月16日(木) 於：鯨割烹みどり

5月、令和初の例会は「ギター弾きのなべさと」こと渡邊聰氏をお招きして遠くになった昭和の懐かしい歌謡曲を皆さんで歌い盛り上がりました。参加者会員26名、ビジター3名、ふくろう募金3,690円。

(吉田光一例会委員長)



6月例会 令和元年6月27日(木) 於：鯨割烹みどり

令和元年6月27日木曜日の夕食例会の参加者は、会員30名でした。卓話は[2019年千葉市主要プロジェクトの概要]。

講師に千葉市総合政策部長の藤代真史様に来ていただきました。市制100周年として、成長や基本理念など、これからの事業スケジュールなど盛り沢山のお話でした。

会員からの質疑応答もとてもディープで、千葉市民として、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。ふくろう募金は6,131円でした。

(中島美香例会委員長)



### 9～10月のスケジュール

9/4(水)	役員会	18時00分開会	ホテル菜の花
9/7(土)	研修親睦旅行 南伊豆・弓ヶ浜温泉 季一遊	集合9/7 午前7時10分 JR千葉 NTT千葉前	
9/8(日)		参加費 会員30,000円 ビジター 35,000円	
9/26(木)	夕食例会	18時30分開会	鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
10/2(水)	役員会	18時00分開会	ホテル菜の花
10/24(木)	夕食例会	18時30分開会	鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円